

漁業構造動態調査票（個人経営体用）

令和 年 11月 1日調査



政府統計
統計法に基づく国の
統計調査です。調査
票情報の保護
に万全を期します。

	調査年	大海区	都府県 (振興局)	市区町村	漁業地区	調査区	客体番号	区分	階層
コード									

この調査について

- この調査は、**水産施策の企画・立案、推進等に必要な資料**として活用されます。
- 調査の対象は、「2023 年漁業センサス」の名簿から無作為に選定しています。**2028 年漁業センサスまで毎年継続**のご回答をお願いいたします。

回答に当たって

- この調査票は、**統計の作成目的以外には使用しません**ので、**そのままをご記入ください。**
- 記入に当たっては、「漁業構造動態調査票(個人経営体用)の記入の仕方」をよく読んでください。
- 自身の世帯で経営している自家漁業について回答してください。**共同経営等を行っている方が世帯員にいる場合は、共同経営等の経営部分を除いてください。**
- 調査票の設問は、以下について記入する箇所あります。
 - 令和 年 11月 1日現在
 - 過去1年間（令和 年 11月 1日から令和 年 10月 31日までの1年間）
- 前回（前年調査又は 2023 年漁業センサス）ご回答いただいた内容を印刷しています。お手数ですが、前回と回答が変わらない場合も、必ず回答欄のご記入をお願いします。
- 調査票は、パソコンやスマートフォン、タブレットでも回答できます。
詳しい回答方法は「オンライン調査ガイド」をご覧ください。

回答欄の書き方

- 黒色の鉛筆またはシャープペンシルで記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。
- 数字は1マスに1つずつ、枠からはみ出さないように**右づめ**で記入してください。
- マークを記入する欄は、下の記入例のように濃く線を記入してください。

記入例									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0

記入例				
良い	✓	悪い	○	✓

最初に回答してください。

令和 年 11月 1日現在で、漁業経営の状況について、**当てはまるものを一つ選んでください。**

個人で漁業経営を営んでいる	・過去1年間の自家漁業の海上作業従事日数は30日以上ある	①	✓
	・過去1年間の自家漁業の海上作業従事日数は30日未満である	②	✓
個人で漁業経営を営んでいない	・廃業した	③	✓
	・会社など、個人経営体以外である	④	✓
	・その他		

①に記入された方は、2ページの設問1に進んでください。

②～④に記入された方は、これで調査終了です。
返信用封筒にて返信してください。
ご協力ありがとうございました。

1 世帯員すべての人数

11月1日現在の住居及び生計を共にする世帯員の人数を記入してください。

	男	女		
	701	702		
	前回値	回答欄	前回値	回答欄
すべての世帯員				人
うち、満14歳以下の世帯員				人

2 漁業を行った世帯員

過去1年間（令和 年11月1日～令和 年10月31日）に漁業を行った満15歳以上の世帯員（11月1日現在）をすべて記入してください。なお、漁業を行っていない世帯員や14歳以下の世帯員の記入は不要です。

世帯員	性別	生年月	過去1年間にした仕事について														
			自家漁業の海上作業日数	自家漁業の海上作業日数が最も多かった漁業種類	雇られて漁業の仕事をした	漁業以外の仕事をした	（自家漁業以外の自営業を含む）	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	（自家漁業以外の自営業を含む）	
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	男	女	大正昭和平成	年	月	日数を記入（日）	定置網	海面養殖業	左記以外	当てはまるものすべてを選ぶ
731	前回値	01															
731	回答欄	01	✓✓✓✓✓✓✓✓											✓✓✓✓✓✓✓✓			
732	前回値	02												✓✓✓✓✓✓✓✓			
732	回答欄	02	✓✓✓✓✓✓✓✓											✓✓✓✓✓✓✓✓			
733	前回値	03												✓✓✓✓✓✓✓✓			
733	回答欄	03	✓✓✓✓✓✓✓✓											✓✓✓✓✓✓✓✓			
734	前回値	04												✓✓✓✓✓✓✓✓			
734	回答欄	04	✓✓✓✓✓✓✓✓											✓✓✓✓✓✓✓✓			
735	前回値	05												✓✓✓✓✓✓✓✓			
735	回答欄	05	✓✓✓✓✓✓✓✓											✓✓✓✓✓✓✓✓			
736	前回値	06												✓✓✓✓✓✓✓✓			
736	回答欄	06	✓✓✓✓✓✓✓✓											✓✓✓✓✓✓✓✓			
737	前回値	07												✓✓✓✓✓✓✓✓			
737	回答欄	07	✓✓✓✓✓✓✓✓											✓✓✓✓✓✓✓✓			
738	前回値	08												✓✓✓✓✓✓✓✓			
738	回答欄	08	✓✓✓✓✓✓✓✓											✓✓✓✓✓✓✓✓			

海上作業には、陸上施設での養殖作業を含みます。具体的な内容は、調査票の「記入の仕方」を参考にしてください。

また、日数の数え方は次のとおりです。

①1日のうちに2回以上出漁しても1日とします。

②1航海が1夜の場合(夕方出港し、翌朝入港した場合)は1日とします。

③2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
なお、遊漁船業は含みません。

海面養殖業には、陸上施設での養殖作業を含みます。

3 海上作業に雇った人数

11月1日現在で海上作業に雇っている日本人のうち、過去1年間に30日以上の海上作業を行った人数を男女別・年齢別に記入してください。

	15歳	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳	70歳	75歳以上	合計
	19歳	24歳	29歳	34歳	39歳	44歳	49歳	54歳	59歳	64歳	69歳	74歳	75歳以上	
	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	221
男	前回値													人
	回答欄													人
女	前回値													人
	回答欄													人

4 世帯としての収入

過去1年間の世帯収入（年金は含みません。）は、自家漁業とそれ以外の仕事ではどちらが多かったですか。当てはまるものを一つ選んでください。

	前回値	回答欄	
自家漁業の収入のみだった			
自家漁業の収入の方が多かった	711	<input checked="" type="checkbox"/>	
自家漁業以外の仕事の収入の方が多かった		<input type="checkbox"/>	

自家漁業の収入には、共同経営や雇われて行った漁業は含みません。
自家漁業以外の仕事には、共同経営や雇われて行った漁業、不動産による収入などを含めます。
なお、年金や退職金、社会保障制度の給付金等による収入は、どちらにも含みません。

5 販売金額の最も多かった漁業種類

過去1年間に行った自家漁業の種類のうち、販売金額の最も多かったものを一つ選んでください。

	前回値	回答欄	
定置網		<input checked="" type="checkbox"/>	
海面養殖業	161	<input type="checkbox"/>	
上記以外		<input type="checkbox"/>	

海面養殖を行っていても、養成期間中で、過去1年間に収穫していない場合は、養成している水産動植物の販売見込み金額で順位付けを行ってください。

6 漁獲物・収穫物の販売金額

過去1年間に自家漁業で漁獲・収穫した水産物の販売金額（消費税込み）で当てはまるのを一つ選んでください。

	販売金額なし	100万円未満	100万円～300万円未満	300万円～500万円未満	500万円～800万円未満	800万円～1,000万円未満	1,000万円～1,500万円未満	1,500万円～2,000万円未満	2,000万円～5,000万円未満	5,000万円～1億円未満	1億円～2億円未満	2億円～5億円未満	5億円～10億円未満	10億円以上
前回値														
回答欄	571	<input checked="" type="checkbox"/>												

加工して販売した場合はその金額とし、自らが営む旅館、民宿、飲食店、釣堀等に使用した場合は、販売したものと見なして金額を見積り、販売金額に含めてください。

7 漁船

(1) 過去1年間の自家漁業に**使用した漁船の種類**について、**当てはまるものをすべて選んでください。**また、**11月1日現在で持っている漁船の隻数**を記入してください。

	使用した漁船		11/1 現在で持っている隻数				
	前回値	回答欄	前回値		回答欄		
			百	十	百	十	
無動力漁船を使用した	302			✓			
船外機付漁船を使用した	303			✓			
動力漁船を使用した	304			✓			
漁船を使用していない	301			✓			

使用した漁船とは、所有・借入れを問わず、過去1年間で漁業に使用した漁船をいいます。

持っている船とは、使用した漁船のうち、11月1日現在で自らが管理運営する漁船をいいます。なお、借りている漁船を含み、貸し出している漁船は含みません。

複数の無動力漁船に1台の船外機を回し付けて使用した場合は、1隻を船外機付漁船とし、残りを無動力漁船と数えてください。

(2) 過去1年間に**使用した動力漁船**の総トン数をすべて記入し、**11月1日現在で持っているか・いないか**を選んでください。

	総トン数		11/1 現在で			
	①		②		千	百
	十	一	小数	持っている		
401	前回値					
	回答欄			✓		✓
402	前回値					
	回答欄			✓		✓
403	前回値					
	回答欄			✓		✓
404	前回値					
	回答欄			✓		✓
405	前回値					
	回答欄			✓		✓
406	前回値					
	回答欄			✓		✓
407	前回値					
	回答欄			✓		✓
408	前回値					
	回答欄			✓		✓
409	前回値					
	回答欄			✓		✓
410	前回値					
	回答欄			✓		✓

調査は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

漁業構造動態調査票（団体経営体用）

令和 年 11月 1日調査



政府統計

統計法に基づく国の
統計調査です。調査
票情報の秘密の保護
に万全を期します。

	調査年	大海区	都府県 (振興局)	市区町村	漁業地区	調査区	客体番号	区分	階層
コード									

この調査について

- この調査は、**水産施策の企画・立案、推進等に必要な資料**として活用されます。
- 調査の対象は、「2023 年漁業センサス」の名簿から無作為に選定しています。**2028 年漁業センサスまで毎年継続**のご回答をお願いいたします。

回答に当たって

- この調査票は、**統計の作成目的以外には使用しません**ので、**そのまま**をご記入ください。
- 記入に当たっては、「漁業構造動態調査票(団体経営体用)の記入の仕方」をよく読んでください。
- 会社、漁業協同組合、漁業生産組合、共同経営等の団体として経営している漁業について回答してください。個人でも漁業を経営している方は、**自家漁業を除いて**ください。
- 調査票の設問は、以下について記入する箇所あります。
 - ・ **令和 年 11月 1日現在**
 - ・ 過去1年間 (**令和 年 11月 1日から令和 年 10月 31日までの1年間**)
- 前回（前年調査又は 2023 年漁業センサスで）ご回答いただいた内容を印刷しています。お手数ですが、前回と回答が変わらない場合も、必ず回答欄のご記入をお願いします。
- 調査票は、**パソコンやスマートフォン、タブレット**でも回答できます。
詳しい回答方法は、「**オンライン調査ガイド**」をご覧ください。

回答欄の書き方

- 黒色の鉛筆またはシャープペンシルで記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。
- 数字は1マスに1つずつ、枠からはみ出さないように**右づめ**で記入してください。
- マークを記入する欄は、下の記入例のように濃く線を記入してください。

記入例									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0

記入例				
良い	✓	悪い	○	✓

最初に回答してください。

令和 年 11月 1日現在で、漁業経営の状況について、**当てはまるものを一つ選んでください。**

漁業経営を営んでいる	①	✓
漁業経営を廃業した	②	✓



①に記入された方は、2ページの設問1に進んでください。



②に記入された方は、これで調査終了です。
返信用封筒にて返信してください。
ご協力ありがとうございました。

1 漁業に従事した責任がある人

過去1年間（令和 年11月1日～令和 年10月31日）に管理業務を含む漁業に従事した経営主、役員であり、海上作業又は陸上作業において責任がある人について記入してください。

経営主	海上作業の責任がある者					陸上作業において責任のある者	性別	生年月	海上作業日数(陸上作業にのみ従事している場合は「0」を記入)	海上作業日数が最も多かった漁業種類	
	漁ろう長	船長	機関長	養殖場長	その他						
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	
	当てはまるものすべてを選ぶ					男	女	大正	昭和	平成	年 月
601	前回値										
回答欄	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
602	前回値										
回答欄	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
603	前回値										
回答欄	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
604	前回値										
回答欄	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
605	前回値										
回答欄	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
606	前回値										
回答欄	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
607	前回値										
回答欄	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
608	前回値										
回答欄	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
609	前回値										
回答欄	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
610	前回値										
回答欄	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

海上作業には、陸上施設での養殖作業を含みます。具体的な内容は、調査票の「記入の仕方」を参考にしてください。

また、日数の数え方は次のとおりです。

①1日のうちに2回以上出漁しても1日とします。

②1航海が1夜の場合(夕方出港し、翌朝入港した場合)は1日とします。

③2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
なお、遊漁船業は含みません。

海面養殖業には、陸上施設での養殖作業を含みます。

2 海上作業に雇った人（1で記入した人を除きます。）

(1) 11月1日現在で海上作業に雇っている日本人のうち、漁ろう長、船長、機関長、養殖場長の役職につく者について記入してください。

651	前回値	役職				性別	生年月			海上作業日数	海上作業日数が最も多かった漁業種類		
		漁ろう長	船長	機関長	養殖場長		①	②	③		④	⑤	⑥
	回答欄	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
652	前回値	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
653	前回値	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
654	前回値	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
655	前回値	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
656	前回値	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
657	前回値	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
658	前回値	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
回答欄	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	

(2) 11月1日現在で海上作業に雇っている日本人のうち、(1) の役職につく者を除いた人の中で、過去1年間に30日以上の海上作業を行った人数を男女別・年齢別に記入してください。

	15歳	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳	70歳	75歳以上	合計
	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	221
男	前回値													
	回答欄													
女	前回値													
	回答欄													

3 販売金額の最も多かった漁業種類

過去1年間に行った漁業の種類のうち、販売金額の最も多かったものを一つ選んでください。

	前回値	回答欄
定置網		✓
海面養殖業	161	✓
上記以外		✓

海面養殖を行っていても、養成期間中で、過去1年間に収穫していない場合は、養成している水産動植物の販売見込み金額で順位付けを行ってください。

4 漁獲物・収穫物の販売金額

過去1年間に漁獲・収穫した水産物の販売金額（消費税込み）で当てはまるものを一つ選んでください。

販売金額なし	100万円未満	100万円～300万円未満	300万円～500万円未満	500万円～800万円未満	800万円～1,000万円未満	1,000万円～1,500万円未満	1,500万円～2,000万円未満	2,000万円～5,000万円未満	5,000万円～1億円未満	1億円～2億円未満	2億円～5億円未満	5億円～10億円未満	10億円以上
前回値													
回答欄	571	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

加工して販売した場合や、旅館、民宿、飲食店、釣堀等に使用した場合は、原料として用いた漁獲物及び収穫物を販売したものと見なして金額を見積り、販売金額に含めてください。

5 漁船

- (1) 過去1年間の漁業に使用した漁船の種類について、当てはまるものをすべて選んでください。
また、11月1日現在で持っている漁船の隻数を記入してください。

使用した漁船	11/1 現在で持っている隻数					
	前回値	回答欄	前回値		回答欄	
			百	十	百	十
無動力漁船を使用した	302			✓		
船外機付漁船を使用した	303			✓		
動力漁船を使用した	304			✓		
漁船を使用していない	301			✓		

使用した漁船とは、所有・借入れを問わず、過去1年間で漁業に使用した漁船をいいます。
持っている船とは、使用した漁船のうち、11月1日現在で自らが管理運営する漁船をいいます。なお、借りている漁船を含み、貸し出している漁船は含みません。

複数の無動力漁船に1台の船外機を回し付けて使用した場合は、1隻を船外機付漁船とし、残りを無動力漁船と数えてください。

- (2) 過去1年間に使用した動力漁船の総トン数をすべて記入し、11月1日現在で持っているか・いないかを選んでください。

401	総トン数		11/1 現在で	
	①		②	
	千	百	十	一
前回値				
回答欄			✓	✓
402	前回値			
403	前回値			
404	前回値			
405	前回値			
406	前回値			
407	前回値			
408	前回値			
409	前回値			
410	前回値			
	回答欄			

調査は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。